

家庭科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
				・初めての教科なので興味・関心は高く、丁寧に学習に取り組んでいる。 一方、技能の習得に時間がかかる分野もある。経験はあるが、家庭科の用語を知らないという児童も多い。	・授業中は、自身の経験を紐づけて考えながら、実習などに積極的に取り組んでいる。楽しく取り組んでいる 一方、改善点に気付いて改善方法を考えたり工夫したりすることに課題がある。

2 課題や授業の改善策

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
知識・技能					・教科書を徹底活用する。 ・家庭科用語を授業で積極的に使い、理解して使えるようにする。 ・ＩＣＴを活用したり実演したりして、基礎・基本の技能を見せ、真似させて確実に身に付けるようにする。	・自身の家庭生活を振り返る機会を設け、家族や家庭、衣食住、消費や環境の状況を捉える。 ・ＩＣＴを活用したり実演したりすることで模範例を示し、よりよい生活にするために知識や技能を習得させる。
判断・思考・表現					・問題を見出して課題を設定したり、よりよくするための工夫を考えたりできるようにする。	・日常生活の中で課題を見つけ、課題解決の計画を考えて表現できるようにする。
主体的に学習に取り組む態度					・多様な家庭生活の形式を大切にすることを育み、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 ・自分でできることが増える楽しさを感じさせ、自信を育てる。	・家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員にとどまらず、地域の一員として役に立ったり、周囲の人々を大切にするために生活を工夫したりする実践的な態度を養う。

※重視する内容は、網掛けで強調する。